

戸惑い時期を乗り越えて、堅実に前進 消費税増税1年後の暮らしの実態とおもい

生活者研究センター
主任研究員 秋田 千恵

2014年4月の消費税8%への増税から1年以上が経過。2014年7月の『くらしの現場レポート』では、増税前後の「暮らしの満足度」や「消費意欲」には大きな変化が見られないことを報告しました。今回のレポートでは、首都圏の既婚女性を対象とした継続調査から見えてきた、増税直後から現在に至るまでの気持ちの変化や、購買行動、引き締め意識など、暮らしへの「おもい」を報告します。

トピックス

- 増税直後より、3カ月後からじわじわと増す負担感
- 3カ月後に上がった引き締め意識が高どまり。ムダなものは買わない
- 引き締めながらもメリハリ家計で上手にやりくり
- 増税分を家計の枠内に収め、堅実に対応

【調査概要】

「消費税増税後の生活者」

調査期間：2014年4月・7月、2015年4月
調査方法：インターネット調査
調査対象：首都圏在住20～60代既婚女性
回答者数：各500人

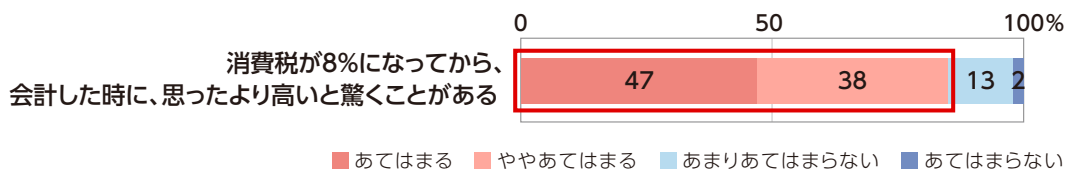
調査期間：2013年5月、2014年1月・5月・9月、2015年1月・5月
調査方法：インターネット調査
調査対象：首都圏在住20～60代既婚女性
回答者数：各500人

調査期間：2015年4月
調査方法：家庭訪問インタビュー調査
調査対象：首都圏在住20～40代既婚女性
対象者数：8人

増税直後より、 3カ月後からじわじわと増す負担感

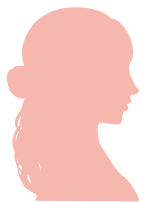
2014年7月に報告したレポートでは、半数以上の方が日用品・化粧品など、いつも使っているものを増税前に購入していました。自分がとった購買行動に満足しており、2014年5月時点での引き締め意識には特に変化は見られませんでした。

しかしながら、増税3カ月後の7月に増税後の気持ちを聞いてみると、85%が「会計時に思ったより高いと驚くことがある」と回答(図1)。増税前の税込み表示から税抜き表示になったことへの混乱や、「底値がわからなくなった」など、お得に買い物できていないのでは、という戸惑いなどもあり、徐々に増税の負担感が増している様子が、自由回答からも見えてきました。



20～60代既婚女性 500人(花王 生活者研究センター調べ)

(図1) 2014年7月の増税後の意識



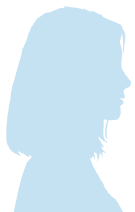
(20代会社員)

税込み表示の店と税抜き表示の店があるので、
どちらかに統一してほしい。



(30代専業主婦)

マヨネーズを買おうとして、もっと安くならないかと待って
いたら売り切れちゃった。安売りの値段がわからなくなった。
生活を直撃してきた感じ。



(40代会社員)

税抜き表示に慣れて感覚が麻痺しているけど、家計には確実に
ボディブローのように効いていて、ダウン寸前。



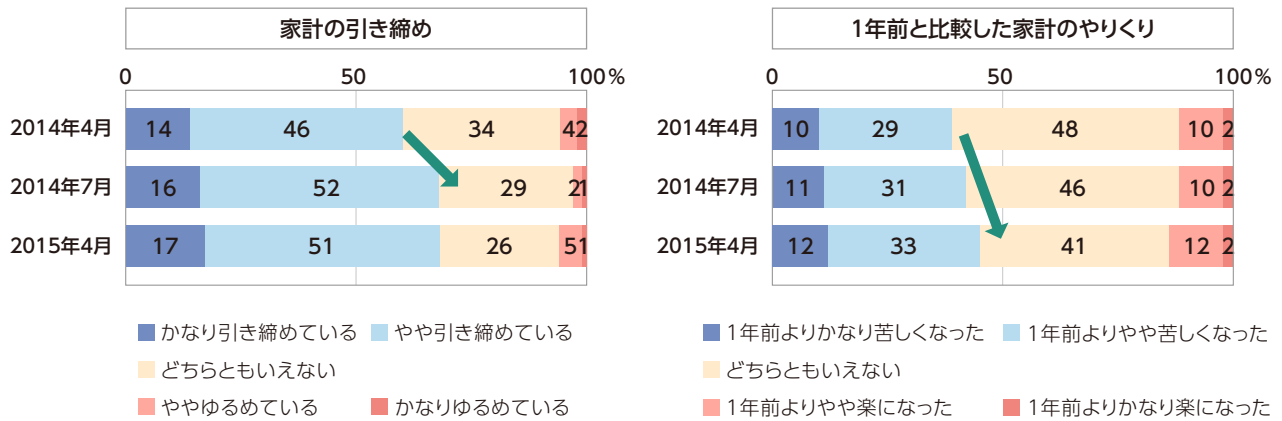
(60代専業主婦)

3%アップなのに、それ以上に払っている感じがするとき
もあるので、便乗値上げもあるのでは？

3カ月後に上がった引き締め意識が高どまり。 ムダなものを買わない

家計の引き締め意識ややりくりについて、増税直後から1年の経過を追ってみました。

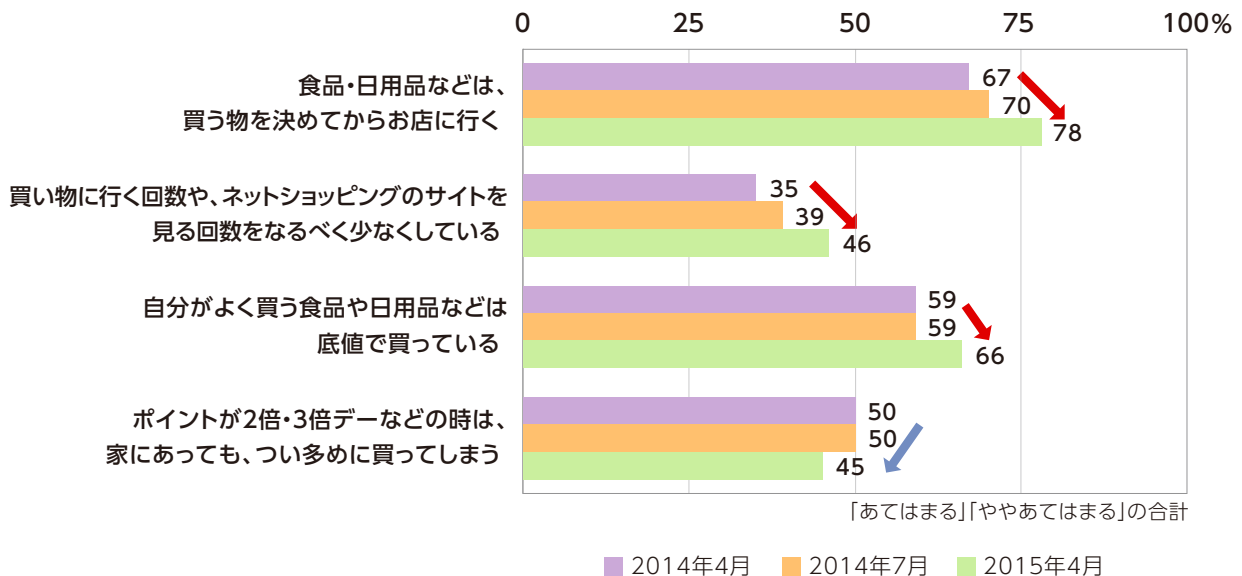
家計の引き締めをしている人は、増税直後の2014年4月には60%でしたが、増税3カ月後に感じた負担感から7月には68%と引き締め意識は徐々に上昇し、1年後の2015年4月も同じく68%で高い状態が今も続いています。家計のやりくりについても、「1年前よりも苦しくなった」と感じている人は、2014年4月の39%から、7月は42%、2015年4月には45%とじわじわと上昇しています(図2)。



20~60代既婚女性 各調査500人(花王 生活者研究センター調べ)

(図2) 家計の引き締め／やりくり意識

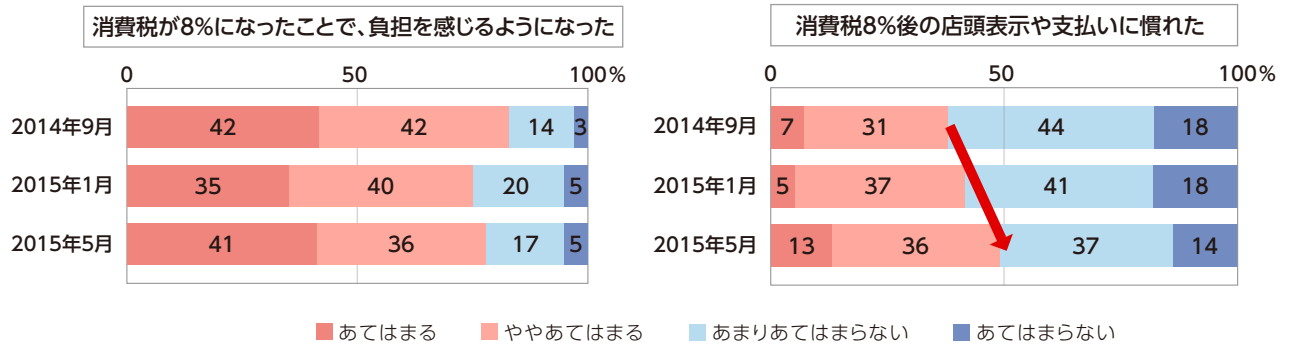
このように引き締め意識が高くなったことで、増税後の買い物行動にも少し変化が見られました。この1年の行動を比較してみると、2015年4月では「買う物を決めてからお店に行く」(78%)、「買い物の回数をなるべく少なくする」(46%)、「底値で買っている」(66%)が増加、「ポイントデーはつい多めに買う」(45%)が減少しています。このことから、ムダなものを買わない買い物スタイルに変化している様子がうかがえました(図3)。



20~60代既婚女性 各調査500人(花王 生活者研究センター調べ)

(図3) 増税後の買い物行動の変化

増税1年後の意識では、「増税の負担感」は約8割と相変わらず高いものの、「店頭表示や支払いに慣れた」人も約5割と、少しずつ増えてきています(図4)。底値がわかるようになってきたことなどと合わせて、戸惑いが落ち着いてきたように見受けられます。



20~60代既婚女性 各調査500人(花王 生活者研究センター調べ)

(図4) 増税後の意識

(30代専業主婦) 最初の頃は家計に響いてつらかったけど、今は慣れてきた。

(30代会社員) 8%には慣れたけど、レシートを見ると消費税がこんなに!と思う。

(60代専業主婦) 前にも増して、チラシなどで安い店を探し求め、複数店を回るようになった。

引き締めながらもメリハリ家計で上手にやりくり

増税1年後の暮らしぶりを把握するために、家庭訪問調査を実施しました。その結果、どこの家庭も増税後に引き締めていることはあるものの、切実な感じはあまりなく、節約を実践しながら、子どものことや日々の楽しみなど、自分にとって価値のあるものにはお金をかける「メリハリ家計」で、上手にやりくりをしている様子が見受けられました。

事例

家計簿をつけてお金をきっちり管理



マンションのローンもあるので、お給料は余ったことがなくて、ギリギリで家計を回しています。でも子どもに必要なお金は使いたい。

Aさん(33歳) 専業主婦 夫(35歳) 子ども2人

やりくり行動とおもい

引き締める

- 食材をムダにしないように、1週間分の献立を立てて冷蔵庫に貼っておく。
- 肉はまとめて買って、小分けに冷凍。
- 家計簿をつけてお金をしっかり管理。習い事や保険料など、年間の大きな支出は忘れないように表紙に書いておく。



- 増税後は、150円の牛乳を100円の低脂肪乳に替えた。
- 新聞をやめ、チラシは近所の夫の実家で見えるようになった。

お金をかける

- 運動会でがんばったので、子どもに人気のオモチャを買ってあげた。
- 買い物でたまったポイントは、子どもが喜ぶものに使いたいので、ディズニールンドのチケットに換えた。



みんなのやりくり行動



(30代専業主婦)

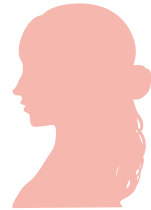
3%増税分だけちょっと節約。味噌汁の具を3品から2品に減らしたり、トーストにのせていたチーズを少し我慢したり、このくらいでOK。初めの2~3カ月で慣れました。



増税前は3株100円だったえのきが最近が高くなって損した気分。まとめ買いせずとりあえず1株だけ購入。



だけど、ささやかな楽しみも大切。気になっていた期間限定のアイスクリームをダンナと2人分購入(370円×2)。

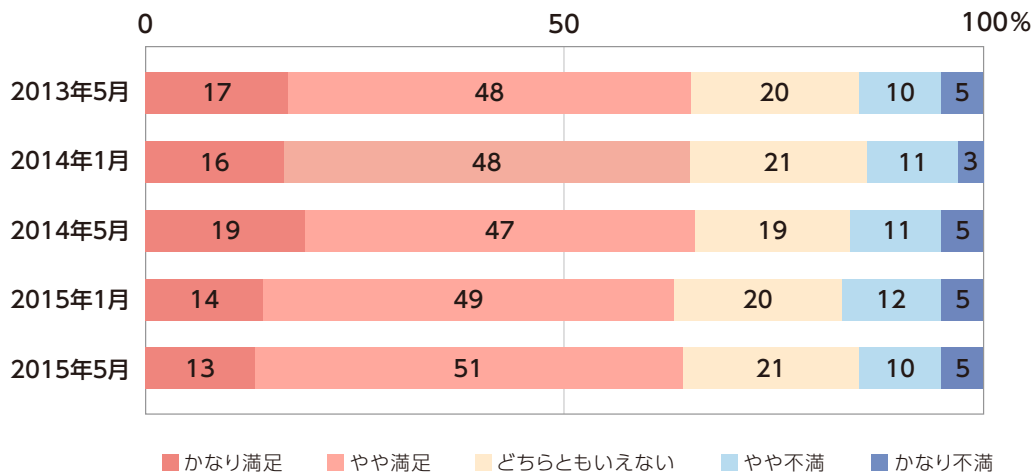


(20代専業主婦)

増税分を家計の枠内に収め、堅実に対応

増税後の1年を振り返ると、増税3カ月後に少しずつ負担感を実感し、戸惑いを感じて買い物に慎重になった時期もありました。しかしながら、リーマンショックや東日本大震災などの経験から、安く買うための工夫や節約など、変化に対応できる力を磨いてきているため、増税についても自分なりの引き締めややりくりの方法を見つけ出し、1年後の現在は生活も落ち着いてきているようです。

また、楽しみにはお金をかけたいという気持ちも強く、「メリハリ家計」は増税後も継続していました。「暮らしの満足度」を見ても、増税前後ともに変わらず6割強が「満足」と回答していて、高いまま推移しています(図5)。3%の増税分を家計の枠内に収め、身近な楽しみにも目を向けながら上手に暮らし、堅実に前に進んでいる様子が見えがえしました。



20～60代既婚女性 各調査500人(花王 生活者研究センター調べ)

(図5) 暮らしの満足度の推移

●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究センター**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX. 03-5630-9584

くらしの研究 <http://www.kao.co.jp/lifei/>

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。